

# 経済・金融 フラッシュ

## 11月日銀決定会合:

来週から基金で国債購入開始、ETF・J-REIT の買取概要を  
発表

経済調査部門 主任研究員 矢嶋 康次

TEL:03-3512-1837 E-mail: yyajima@nli-research.co.jp

### 1. FOMC で波乱なし追加緩和見送り、基金で国債購入開始、ETF・J-REIT の買取概要を発表

日銀は 15-16 日に予定していた決定会合を前倒した今回の会合(4・5 日)で金融政策の「現状維持」を決めた。FOMC が決定(3 日)した量的緩和第2弾を受けて為替相場などが落ち着いた動きにとどまったことで追加緩和は見送った模様だ。

10 月 5 日の決定会合で創設した 35 兆円の資産買入等の基金による国債の買い取りを週明けから始めることを決め、ETF と J-REIT について、詳細が発表された。ETF は TOPIX と日経 225 に連動する商品、J-REIT は信用格付けの高い十数銘柄を対象にすることも決め、順次買取を開始する予定だ(ETF、J-REIT の買入等の概要は次項の通り)。

### 2. 景気認識:一服感が見られる

景気の現状については、「緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる」、先行きは「景気改善テンポの鈍化した状態がしばらく続いた後、緩やかな回復経路に復していく」との判断を示した。先月から見ると輸出や生産が横ばいとなったことなどから、現状判断を「弱まっている⇒一服感が見られる」に表現を弱めている。

日銀 景気判断・見通し

	現状
2010年11月	緩やかに回復しつつあるものの改善の動きに一服感がみられる
2010年10月(展望)	(据え置き)
2010年10月	緩やかに回復しつつあるものの改善の動きが弱まっている
2010年9月	(据え置き)
2010年8月臨時	(据え置き)
2010年8月	(据え置き)
2010年7月	(据え置き)
2010年6月	(据え置き)
2010年5月	景気は緩やかに回復しつつある
2010年4月	景気は持ち直しを続けている
2010年3月	(据え置き)
2010年2月	(据え置き)
2010年1月	(据え置き)

## ETF・J-REIT 買入等の概要

### 1. 買入対象

- (1)ETF であって、TOPIX または日経 225 に連動するもの
- (2)J-REIT であって、AA 格相当以上のもので、信用力その他に問題がないもの
- (3)J-REIT については、取引所で売買の成立した日数が年間 200 日以上あり、かつ年間の売買の累計額が 200 億円以上であること

### 2. 買取方式

- (1)信託銀行を受託者とし、信託財産として買入れる
- (2)市場の状況に応じ、日本銀行が定める基準に従って受託者が買入れを進捗させる

### 3. 買入価格 原則として、取引所での売買高加重平均価格

### 4. 銘柄別の買入限度額

- (1)ETF は買入額が銘柄毎の時価総額に概ね比例するよう銘柄毎の買入上限を設定
- (2)J-REIT は各銘柄の発行残高の 5%以内であって、買入額が銘柄毎の時価総額に概ね比例するよう銘柄毎の買入上限を設定

### 5. J-REIT の議決権講師

投資主の利益の最大化を目的とする指針を日本銀行が定め、信託銀行に行使させる

### 6. 買入れた資産の処分

- (1)①J-REIT については銘柄別残高が 5%を超過した場合、②監理銘柄・整理銘柄に指定された場合、③公開買付けに応じる場合等には、速やかに当該銘柄の処分を行なう
- (2)上記以外の場合に処分を行なう際は、損失発生や市場への攪乱的な影響を極力回避することを考慮した指針を日本銀行が定め、信託銀行に処分させる

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。